

4. 寄稿 2：技術専門家の生き様といま

(元 NPO 住宅地盤診断センター代表理事、防災士 小島 修)

地盤・防災の専門家として活動

安全な家づくりには、地盤が重要になります。同じつくりの家でも、その下の地盤によって地震時の被害も大きく異なります。地震時の被害を最小限に抑えるためには、CTスキャンのように精度の高い地盤調査が必要になります。

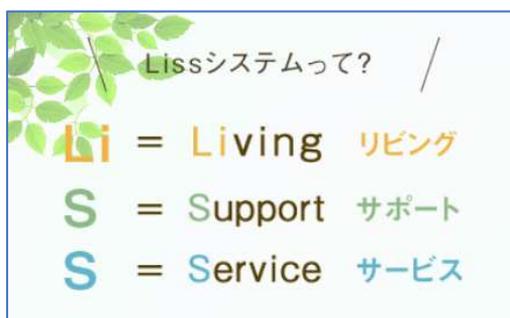
私はこうした先進の地盤調査機器を開発・製造・販売する会社に41歳の時に入社、その後、経営者として14年間、先進の地盤調査技術の普及に努めました。



また、地盤調査＝地盤改良工事（施主の金銭的負担増と地球環境への悪影響）という業界の風潮を変えたく、全国の地盤調査会社に呼びかけ、およそ100社が参加する「特定非営利法人 住宅地盤診断センター」<https://jyutaku-jiban.or.jp/>を2003年に立ち上げました。さらに、「防災士」として約8年、特定非営利法人住宅地盤診断センター主催のセミナーで、木造住宅の地震被害を軽減するための講演活動をしてきました。

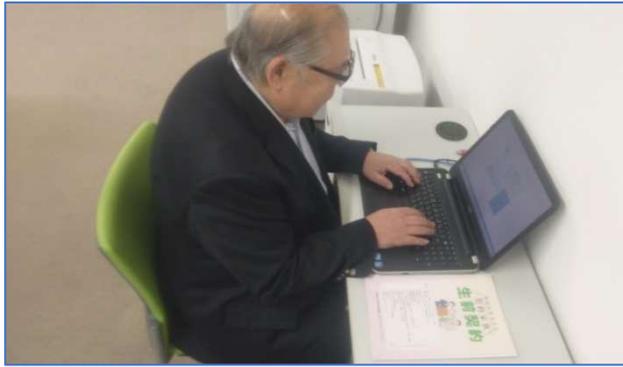
生前サポート業務の支援活動

こうした中、長年、「特定非営利法人りすシステム」<http://www.seizenkeiyaku.org/>の皆さんにマナー研修をしていた姉が、素晴らしいNPOの団体があるから一度見学に来てみたらと誘われ、それが縁で「りすシステム」と関わることになり、地震被害を抑えるために住宅の安全に寄り添う「防災士」としての活動から、現在はひとり暮らしの高齢者の安心に寄り添う「契約家族コーディネーター」として活動しています。



りすシステムの利用者様からの思いがけないよろこび。生前サポートの業務が、こんなに楽しいものとは思いませんでした。病院の受診や入退院サポートの際には利用者様の体験談や思い出話を聴きながら、私の人生にプラスアルファをいただいています。

さらに感激するのが、最初の挨拶のあと、利用者様から【安心】の言葉、おいとまをする時には【感謝】の言葉を多くいただくことです。心がけているのは、本当の家族として笑顔で接し、聞き上手になって会話を楽しんでいただくことです。



りすシステムは、困った事案に対して 家族や親戚と同じ思いで手助けをする社会的・経済的な特定非営利法人です。私は、現在、新設の町田事務所で【契約家族コーディネーター】の募集業務と【りすシステム】のPR活動を行っています。是非、多くの契約家族コーディネーターの皆さんに、生前サポート業務の楽しさ、喜びを共に味わっていただきたいと思います。

生前サポートとは、「特定非営利法人りすシステム」が公正証書による契約を通して、法的に守られた「生前契約」に基づき、家族として利用者様の生活をサポートするものです。

- 軽度の認知障害がある高齢者、足腰が弱っている高齢者に付き添い、病院の受診に立ち合い、病院から自宅または施設に帰るまでをサポートします。
- 入退院の付き添いや手術にも立ち合います。
- 多くの単独世帯高齢者の共通の課題である身元保証人にもなることができます。これにより、入院、手術、転居、施設入所などがスムーズに行われます。
- 残念ながら、認知症の方は契約できませんが、契約後、認知症になった場合は任意後見人になり、最後までお世話いたします。
- 万一の時には、役所や銀行など各方面へ連絡を取り、埋葬まで、責任をもってサポートいたします。部屋の片づけ、ペットの処遇などもサポートします。お墓の無い方には合葬墓を紹介いたします。

国立社会保障・人口問題研究所は、日本の世帯総数は 2023 年の 5,419 万世帯をピークに減少傾向になり、逆に 65 歳以上の単独世帯数は 700 万世帯を超え、さらに増加傾向になると予測しています。単独世帯の増加は、社会的孤立をより高め、特に高齢者においては心身の健全を保つことが困難になる恐れがあります。

「りすシステム」との生前契約によって、家族としてのサポートを受けることにより、高齢者が安心して自分らしく生きることができると思います。利用者様を守るため、この事業は永遠の継続が必要です。同じような事業をおこなう団体、民間会社は他にもありますが、「りすシステム」は利用者様を守るため、別の NPO 団体や法律事務所と提携し、絶対に消滅しない組織づくりに取り組んでいます。設立以来 28 年、利用者様の実績は累計 6,800 人超となっています。

65 歳以上の単独世帯数 700 万世帯の時代を目前にして、多くの契約家族コーディネーター及び多くの利用者様とともに、明るく楽しく朗らかに生き生きと暮らせる社会を目指したいと思います。